

令和6年度一般会計決算（見込み）のポイント

1 決算規模

- 歳入 9,302億5百万円（前年度比▲0.6%）
 - 歳出 8,908億60百万円（前年度比▲0.1%）
- ⇒ 令和6年度は、新型コロナウイルス感染症対策に係る国庫支出金が減となったこと、「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」の開催や新型コロナウイルス感染症対策に係る補助費等が減となったことなどにより、歳入・歳出ともに前年度を下回った。（[図1, 2](#)）

2 決算収支

- 実質収支 124億46百万円（⑤ 163億45百万円）
 - 実質単年度収支 ▲38億72百万円（⑤▲47億10百万円）
- ⇒ 行財政運営指針に基づく歳入確保や徹底した事務の効率化等により実質収支は黒字となっている。実質収支から前年度の実質収支を差し引くなどした実質単年度収支は赤字となっている。

3 決算の特徴

【歳出】

- 人件費
職員の定年年齢の段階的な引上げに伴う退職手当の増などにより、増加（前年度比+7.8%）（[図3](#)）
- 物件費
新型コロナウイルス感染症対策に要した経費の減などにより、減少（前年度比▲12.0%）
- 補助費等
「燃ゆる感動かごしま国体・かごしま大会」の開催や新型コロナウイルス感染症対策に要した経費の減などにより、減少（前年度比▲10.3%）
- 普通建設事業費
国の補正予算に対応した食肉等流通体制整備事業の増や、志布志港ふ頭再編改良事業などの国の直轄事業の増により、増加（前年度比+0.8%）（[図4](#)）
- 災害復旧事業費
令和6年度に発生した災害の規模が前年度に比べ大きかったことや前年度からの繰越額が令和5年度に比べ大きかったことにより、増加（前年度比+6.1%）（[図5](#)）

○ 扶助費
子どものための教育・保育給付事業や後期高齢者医療対策事業の増などにより，増加（前年度比＋1.5％）
(図6)

○ 公債費
過去に発行した県債の償還の進行により，減少
(前年度比▲3.5％)
(図7)

○ 義務的経費
人件費や扶助費の増により，義務的経費（人件費，扶助費，公債費）が増加（前年度比＋3.2％）
(図8)

【歳入】

○ 県税
企業業績の好調による法人二税の増及び物価高騰等に伴う地方消費税の増などにより，増加（前年度比＋3.6％）
(図9)

○ 実質的な地方交付税（地方交付税＋臨時財政対策債）
給与改定費が創設されたことによる基準財政需要額の増などにより，増加（前年度比＋0.2％）
(図10)

○ 国庫支出金
新型コロナウイルス感染症対策に要した経費が減少したことや，前年度からの繰越額が令和5年度に比べ小さかったことにより，減少
(前年度比▲10.6％)

○ 県債
防災・減災・国土強靱化のための5か年加速化対策に対応した防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債の増などにより，増加
(前年度比＋3.6％)
(図11)

4 県債残高・基金残高

○ 県債残高
国の補正予算に対応するため，防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債等の残高が増加したことなどから，本県独自に発行する県債の残高は，前年度に比べ20億45百万円増の1兆477億72百万円
(前年度比＋0.2％)
総額は，臨時財政対策債及び減収補填債の残高の減少により，前年度に比べ296億52百万円減の1兆4,882億12百万円
(前年度比▲2.0％)
(図12)

○ 財政調整に活用可能な基金残高
行財政改革の取組等により増加し，250億57百万円
(前年度比＋0.2％)
(図13)